



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

建物名称	南方住宅2号館		
建設地	東淀川区東中島2丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	大阪市長		
設計者	都市整備局住宅部建設課長		
敷地面積	2,340.74	m ²	
建築面積	578.73	m ²	
延床面積	3,968.82	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上9階
完了年(予定)	2026年10月		

1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

A
BEE=1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 **有**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
本件住宅については、室内環境の向上を目指しシックハウス対策として、F☆☆☆☆の材料を使用している。また、グリーン調達推進により、再生利用材料の使用に努めている。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
温熱性能確保のため内断熱を行っており、住宅性能評価の省エネルギー対策等級4を取得している。また、建築材料のほぼ全てにF☆☆☆☆を採用し、化学物質の排出を抑制している。	躯体の耐用年数は長寿命化を考慮した設計を行っており、バリアフリーにも配慮した計画を行っている。	本件住宅の屋外部・集会所は原則、居住者以外の住民も利用することができ、地域に貢献する建物であり、かつ住民が維持管理業務を行っているため、地域に開放された計画に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
自然エネルギーについて、バルコニー側から共用廊下側までの2方向通風を確保することにより、環境負荷低減に配慮している。	節湯水栓・省水型便器を採用することで居住者の節水・省エネルギー対策に配慮している。また、非構造部材に再生加熱アスファルトやタイル等のリサイクル資材を活用しており、環境に配慮している。	交通負荷制御について、付置義務台数を満足する駐輪場、駐車場を設けており、サービス用の適切な駐車スペースの確保・出入りの円滑化に配慮している。また、ごみ収集動線を含めた車両動線と歩行者動線を分けた計画とすることで安全な住環境の確保に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.5
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	建物周囲に緑地や通路を設け、風の通り道を確保しつつ、隣接する都市公園にも配慮を行った、	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を確保している	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	特になし	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	等級4 (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.82	0.82
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		-